

西丹沢の三兄弟に会いに
雨山・檜岳・伊勢沢ノ頭

実施日 2023年4月22日(土)
天候 曇り
リーダー 瀧澤 きよの
参加者 石附智江、遠井謙策、小名秀
鋭、瀧澤きよの、峯川弘
子、宮崎敏男、阿部みゆ
き、津田和子計8名
費用 1,278円(登戸起算)
往復1,500円
タイム 新松田駅南口(8:10)寄大橋
(8:40)森林森沢出会(新旧)
(9:40)釜場の平(10:00)雨山
峠(11:10~20)雨山(12:00~3
0)檜岳(13:10)伊勢沢ノ頭(1
3:55)秦野峠(15:00)寄大橋
(16:50)新松田(17:10)

曇り空の中新松田駅南口より、予約のワゴン車に乗り寄大橋迄、路肩は乗用車でいっぱい。

橋は渡らずゲート進み管理棟に登山届提出。寄沢に沿い遊歩道看板見送り新旧登山に到着です。

一週間雨は降っていないが、旧コース登山道から急登、新コース(沢コース)合流。対岸に渡渉何とも危



ない階段上がり、又下り、渡渉し、右岸へ河原歩き、5カ所程の渡渉。ようやく登山道へ。急登鎖場、道幅狭く、落ち葉で穴の所も釜場の平アツプダウン気の抜

けない鎖場から寄コシバ沢出会で、ネパール国旗皆さん写真撮影。

ここからは、川床歩き、宙吊り道標見送、雨山峠急登特、鎖場の丹沢場皆、有のザラ場登り、必死で登り上げ



雨山峠到着。

ベンチあり、おやつタイム。こぶし会貸し切りとは、なりませんでした。

オランダの女性、若い二人組、単独の鍋割山からの単独者とは抜きつ顔になりました。

新緑、ミツバツツジに癒され、急登の雨山に、アツ何とシロヤシオが痩せ尾根稜線咲いて、ミツバツツジのピンクとで癒してくれます。

稜線に上がると明るくなり、雨山到着です。ここで昼食です。

山桜、新緑、ミツバツツジ、眼下の景色見ながら、最高の昼ご飯です。

檜岳迄は緩や

かなブナ林の縦走写真撮り景色確認、蛭が岳、檜洞丸、畦が丸、権現、鍋割山、仲間との山談義、やはり仲間はいいでね。伊勢沢の迄の稜線もユルリアップダウン、スマレ、翁草の群生(葉のみ花はまだ)マムシ草等。

伊勢沢ノ頭で写真撮影後は激急降痩せ尾根です。

ここでもシロヤシオ、ミツバツツジ、丹沢湖を見ながら、健脚こぶし会アツと言



う間に下り日影山からの分岐を登り、一気に秦野峠に降りここからは林道下り、藤の花新緑せせらぎに癒され寄大橋到着です。

既に待っているワゴン車に乗り、新松田駅にて解散です。

雨山峠迄は沢渡渉のバリエーションルート。雨山・檜岳・伊勢沢ノ頭は静かなるブナ林の稜線歩きそして長い林道歩き、花に癒され新ルートの素晴らしさをこぶし会で歩き最高でした。

ありがとうございました。(山ヒルまだ冬眠中)又宜しくお願いたします。(記・瀧澤きよの)

(写真提供・遠井謙策/峯川弘子/宮崎敏夫)